

# Open Talks!

2022年4月号 Vol:147

突然ですが、皆様はご自身の“誕生石”をご存知でしょうか。誕生日のお祝いいただいたりお守りがわりとしてお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。2021年12月、63年ぶりに改訂(全国宝石卸商協同組合による)され、10種の石が追加されました。新たな魅力にあふれた誕生石を、たっぷりご紹介いたします。

従来の誕生石	石言葉/説明	追加された誕生石	石言葉/説明
1月  ガーネット	<b>真実、友愛</b> ザクロの種に似ていることから、ラテン語で『種』を意味する“グラナタス”になんて名付けられました。赤色のイメージが強いですが、その他になんと40種類以上の色が存在します。友情や愛を深め、活力を得られると言われてます。	2月  クリソベリル・ キャッツ・アイ	<b>守護、慈愛、驚愕</b> 黄色～黄緑、緑色のクリソベリルに、猫の目のような筋状の光が現れている石です。ベリルやトルマリン等にもこの光がありますが、最も美しいとされるのはクリソベリルです。石言葉の「驚愕」は、その美しさに驚愕することからつけられたと言われてます。
2月  アメシスト	<b>高貴、誠実、愛情</b> かつて聖職者のみが身に付けており、それ故に高貴の象徴でもあったそうです。石言葉にもそのまま“高貴”が使われています。過去、日本でもアメシストが採掘されていました。中でも石川県で採掘されたものは上質で、その美しさから『加賀紫』と呼ばれていたそうですが、残念ながら大正時代に閉山しています。	3月  アイオライト	<b>誠実、穏やかな心</b> 多色性を持っており、見る方向によって青色に見えたり水のように透き通って見えたりと、様々な見え方を楽しめる石です。深みのある輝きを放つので、カジュアルなファッションにもよく似合います。
3月  サンゴ  アクアマリン	<b>&lt;サンゴ&gt;長寿、幸福</b> 血のような赤色から「生命力」を連想させ、災難から身を守ってくれると言われてます。 <b>&lt;アクアマリン&gt;幸福、聡明</b> ラテン語で『海の水』。特に深いブルーの石は良質で「サンタマリア」と呼ばれます。ヨーロッパでは古くから船乗りたちのお守りとして重宝されていました。	3月  ブラッドストーン	<b>勇気、沈着</b> 緑色の石に赤の点が特徴的な石です。別名「ヘリオトロープ」と言い、ギリシア語のヘリオス(太陽)とトロポス(向く)がその名前の由来となっているそうです。
4月  ダイヤモンド	<b>永遠の愛、不屈、無垢</b> 炭素で構成されており、地球上で最も硬い鉱物です。その硬さから、石油の掘削や医療用メスのパーツとしても使用されています。無色透明の他にもピンクやブラウン等の「ファンシーカラー」と呼ばれる石が存在します。どの文化圏においても“清らかさ”の象徴とされています。	4月  モルガナイト	<b>優美、清純、愛情、誠実</b> 1910年に発見された比較的新しい石で、アクアマリンやエメラルドと同じ鉱物です。宝石愛好家であるJ.P.モルガンになんて名付けられました。優しいピンク色から「ピンクベリル」「ピンクアクアマリン」とも呼ばれています。欧米ではピンクダイヤモンドの代用として人気があります。
5月  ヒスイ  エメラルド	<b>&lt;ヒスイ&gt;幸福、繁栄</b> 中国では「天国」を連想させる、穴の開いたドーナツ状の石が縁起が良いとされ、人気です。 <b>&lt;エメラルド&gt;幸福、幸運</b> クレオパトラやファラオも愛した石として有名で、クレオパトラの名を冠した鉱山もあるほどです。	4月  アレキサンドライト	<b>情熱、秘めた思い</b> 太陽光の下ではエメラルドのような緑色に、白熱灯の下ではルビーのような赤色に見える不思議な石です。そのカラーチェンジ効果から「昼のエメラルド、夜のルビー」、希少性の高さから「宝石の王様」とも呼ばれています。石言葉も、この色の二面性に由来しています。
6月  真珠  ムーンストーン	<b>&lt;真珠&gt;長寿、無垢</b> 婚約・結婚指輪にも使用され、「不老長寿の薬」という伝説もあったそうです。 <b>&lt;ムーンストーン&gt;健康、幸運</b> 角度によって様々な色味が楽しめる幻想的な石で、ヨーロッパでは旅人の安全を願うお守りとされていました。「恋人たちの宝石」というロマンチックな呼び名もあります。	6月  スピネル	<b>純粋、永久不変</b> チタンを含有していることから正式名称を「チタナイト」といい中でも価値のあるものとされている宝石に対して「スフェーン」という名称が使われます。カットによってはダイヤモンドも凌ぐほどの屈折率(光を通し、内部で反射して輝く力)を誇ります。
7月  ルビー	<b>情熱、深い愛情</b> ラテン語で『赤』を意味する“Ruber”になんて名付けられました。最高級のルビーは“ビジョンブラッド”と呼ばれ、わずかに紫色がかかった深みのある赤です。古来より勝利を呼ぶ石とされ、魔除けや幸福をもたらすと崇められていたそうです。	7月  スフェーン	<b>好奇心、情熱</b> 「棘」を意味するラテン語の「スピナ」に由来しています。ジュエリーとして人気が高いカラーは赤で、かつてはルビーと同一視されていました。カットによってはルビーよりも明るく輝くので、ガラスに疑われることもあるそうです。レッド以外にもブラックやブルーなどがあり、カラーによって石のパワーが違います。
8月  ペリドット  サードオニックス	<b>&lt;ペリドット&gt;幸福</b> 他の石に勝るとも劣らない光や輝きを放つことから「太陽の石」「女神の涙」「イブニングエメラルド」という別名を持っています。 <b>&lt;サードオニックス&gt;夫婦愛</b> 赤と白の平行な縞模様が特徴です。温かい家庭を作る効果があると言われてます。	8月  スピネル	<b>守護、癒し、順応</b> スポジミンという鉱物で、結晶を加熱すると灰色に変化し砕けてしまうことから、ギリシア語で『燃えて灰と化す』という意味が語源です。写真のようなピンク色のクンツァイトが発見された際、有名な宝石学者クンツ博士になんて命名されました。
9月  サファイア	<b>高貴、誓い、誠実、慈愛</b> 何世紀の間、王族や聖職者の式服の装飾品として使用されてきました。古代ペルシャ人は「地球は巨大なサファイアの上にあるため空が青い」と信じていたそうです。婚約と聞くとダイヤモンドが思い浮かびますが、英国王室ではサファイアも贈られるそうです。	9月  クンツァイト	<b>高貴、知性</b> 1967年にタンザニアで発見された比較的新しい宝石です。正式名称は「ブルーゾイサイト」ですが、ティファニー社がこれまでの緑色のイメージと区別するため「タンザナイト」と命名し広く知れ渡りました。
10月  オパール  トルマリン	<b>&lt;オパール&gt;幸運、希望</b> 見る角度によって色が変わる『遊色効果』が特徴的です。虹を閉じ込めたようなその色は幸福や希望を表すとも言われています。 <b>&lt;トルマリン&gt;潔白、寛大</b> 「無い色はない」と言われるほどカラーバリエーションに富んだ石で、好みに合わせて選べます。	12月  タンザナイト	<b>安らぎ、夢想</b> 地球上で発見された中で最も古い鉱物とされています。通常、加熱処理をし人工的に青色に発色させます。ジルコンは世界各国で産出されますが、加熱処理をして青色に変化するのにはカンボジア産のみとされています。
11月  トパーズ  シトリン	<b>&lt;トパーズ&gt;希望、成功</b> 皇帝の名がついた『インペリアルトパーズ』という、赤みがかった橙色をした希少な石もあります。 <b>&lt;シトリン&gt;潔白、寛大</b> 鮮やかな黄色が特徴的で、商売繁盛などのご利益を願って身に付ける方も多かったそうです。古来より『太陽の象徴』とも呼ばれています。	12月  ジルコン	
12月  トルコ石  ラピスラズリ	<b>&lt;トルコ石&gt;成功、繁栄</b> 「ターコイズ」ともいわれ、世界で最も歴史が長い宝石のひとつです。宝飾品だけでなく、職人が絵具のかわりにトルコ石を刻んで美術品を作成していたと言われてます。 <b>&lt;ラピスラズリ&gt;幸運、健康</b> 和名を「瑠璃」といい、仏教において貴重な七宝のひとつとして多くの人々から大切にされてきました。夜空のような深い青色が特徴的で、白い模様(カルサイト)や、星のような金色(バイライト)が散りばめられた石が人気です。		

## 鉱物の豆知識

見た目が全く別の石でも、同一の鉱物から採掘される石が存在します。サファイアとルビーは「コランダム」、エメラルドとアクアマリンは「ベリル」という鉱物から採掘されます。鉱物が結晶化する過程で、石の中に混じった鉄やクロム等が化学反応を起こすと色や見た目が変わり、それに伴い名称も変わります。

## 編集後記

追加になった石をご覧になって「あれ?元から誕生石じゃなかったの?」と思った方もいらっしゃるかもしれませんが、ブラッドストーンやタンザナイトは、一般的に誕生石として認知されていても、正式には認定されていませんでした。本記事が、皆様のジュエリー選びの参考になれば幸いです。

